



2019-20年 年末年始期間中の国際線旅客数予想

2019-20年 年末年始期間中(2019年12月27日(金)～2020年1月5日(日)、計10日間)の関西国際空港における国際線旅客数予想*についてお知らせいたします。

*国際線旅客数予想は日本人旅客数と外国人旅客数の合計値です。

- ・期間中の国際線旅客数は、709,200人(1日平均:70,900人)を見込んでいます。
(※2018-19年 年末年始期間実績(14日間):966,290人(1日平均:69,000人))
- ・期間中の国際線出発のピークは12月28日(土)の42,300人、
国際線到着のピークは1月5日(日)の40,100人を見込んでいます。
(※2018-19年実績 出発ピーク:12月29日(土)41,810人 到着ピーク:12月29日(土)37,740人)
- ・期間中の1日平均では前年比+3%となり、年末年始期間として過去最高、7年連続で前年を上回る見込みです。方面別では中国、東南アジア、韓国を上位3方面と見込んでいます。

<2019-20年 年末年始期間中の国際線旅客数予想>

	旅客数	1日平均	1日平均前年比*
出発	375,600人	37,600人	+3%
到着	333,600人	33,400人	+3%
合計	709,200人	70,900人	+3%

*前年(2018-19年)年末年始期間は2018年12月21日(金)から2019年1月3日(木)の計14日間

<出到着ピーク日予想>

	出発		到着	
第1位	12月28日(土)	42,300人	1月5日(日)	40,100人
第2位	12月29日(日)	41,100人	1月4日(土)	39,800人
第3位	12月27日(金)	38,900人	12月28日(土)	35,300人

<期間中国際線出発旅客数上位3方面予想>

	2019年		前年(2018年)	
第1位	中国	111,300人(+42%)	韓国	136,140人
第2位	東南アジア	69,300人(+16%)	中国	110,110人
第3位	韓国	60,000人(-38%)	東南アジア	83,720人

*前年度実績は大阪出入国在留管理局発表実績値を用いています。

*上表の国際線出発旅客数は日本人出発旅客数と外国人出発旅客数の合計値です。

*()内の数値は1日平均前年比です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社 企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel: 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運營業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客者数は2億4,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

(別紙)

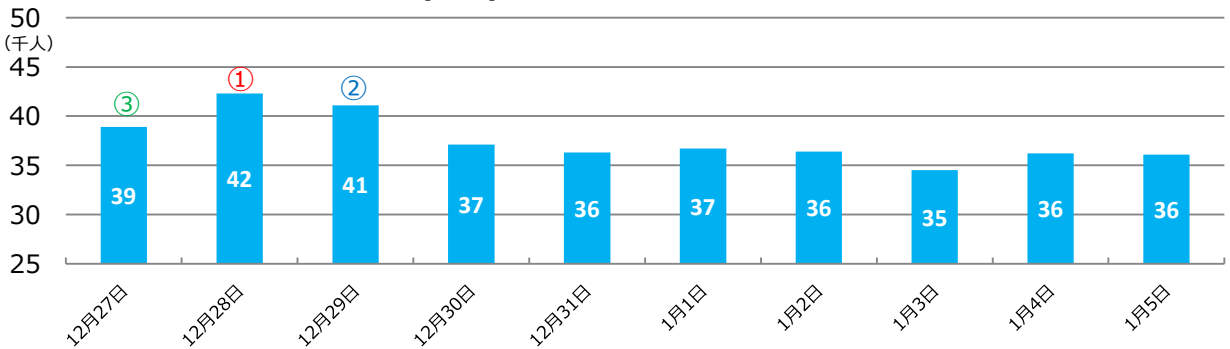
国際線日別旅客数予測

2019-20年 旅客数予測 (10日間)				(参考) 前年 旅客数実績 (14日間)					
	出発	到着	合計		出発	到着	合計		
				12月21日	金	32,980	33,210	66,190	
				12月22日	土	37,970	② 36,880	② 74,850	
				12月23日	日	35,360	32,320	67,680	
				12月24日	月	31,230	31,530	62,760	
				12月25日	火	35,860	27,900	63,760	
				12月26日	水	35,520	29,460	64,980	
				12月27日	木	37,810	33,340	71,150	
12月27日	金	③ 38,900	30,700	69,600	12月28日	金	36,570	32,940	69,510
12月28日	土	① 42,300	③ 35,300	① 77,600	12月29日	土	① 41,810	① 37,740	① 79,550
12月29日	日	② 41,100	32,700	73,800	12月30日	日	③ 38,120	33,270	③ 71,390
12月30日	月	37,100	30,800	67,900	12月31日	月	37,030	29,970	67,000
12月31日	火	36,300	30,600	66,900	1月1日	火	② 39,250	28,630	67,880
1月1日	水	36,700	26,700	63,400	1月2日	水	36,170	32,450	68,620
1月2日	木	36,400	32,700	69,100	1月3日	木	35,040	③ 35,930	70,970
1月3日	金	34,500	34,200	68,700					
1月4日	土	36,200	② 39,800	③ 76,000					
1月5日	日	36,100	① 40,100	② 76,200					
合計	375,600	333,600	709,200	合計	510,720	455,570	966,290		
期間平均	37,600	33,400	70,900	期間平均	36,500	32,500	69,000		

①=第1ピーク ②=第2ピーク ③=第3ピーク

※前年度実績は大阪出入国在留管理局発表実績値を用いています。

(出発)国際線日別旅客数予測グラフ



(到着)国際線日別旅客数予測グラフ

